

20260203



社会福祉法人

あけぼの会

# 『DX事例発表』

～介護テクノロジー×時流適応＝未来創造～



法人サイト

社会福祉法人あけぼの会  
入所事業部 部長 町田大介





社会福祉法人

あけぼの会

所在:大曲船場町  
★医療・介護・福祉・  
保育事業を展開  
しています！

介護老人保健施設

なごみのさと

なごみ保育園

NAGOMI  
CAFE

なごみ夢WALK

特別養護老人ホーム

なごみの家

リハビリ空間・なごみ  
NAGOMI

なごみメンタルクリニック  
NAGOMI MENTAL CLINIC

# 社会福祉法人あけぼの会 概要

- ・大仙市：「大曲の花火」会場近接
- ・サービス概要（医療・介護・保育：11事業）
  - ★介護老人保健施設なごみのさと（4事業）
    - ・入所定員100床（内：認知症専門棟30床）
    - ・短期入所療養介護（空床利用）
    - ・通所リハビリテーション（定員60名）
      - ※1日・リハビリ専門コース・短時間プールコース
    - ・なごみ訪問リハビリテーション
  - ★特別養護老人ホームなごみの家（地域密着型29床）
  - ★特別養護老人ホームなごみの家とまき（地域密着型29床）
  - ★歩行と言葉のリハビリ空間なごみ（定員18名）
  - ★歩行と言葉のリハビリ空間なごみ横手（定員15名）
  - ★なごみ居宅介護支援事業所
  - ★なごみ保育園（企業主導型保育）
  - ★なごみメンタルクリニック（医療）
    - ※心療内科、精神科、内科、デイケア



# 社会福祉法人 あけぼの会 概要

2026. 1. 1 現在	人数 (名)	備考
医師	2	
看護職員	29	内:看護師26名。 老健15名、特養7名、クリニック6名、デイサービス1名
介護職員	97	内:介護福祉士79名、技能実習生4名
セラピスト	16	PT10名、OT5名、ST1名
その他専門職	11	歯科衛生士、管理栄養士、鍼灸・マッサージ師、保健師、 公認心理師、インストラクター、薬剤師
相談援助職員	11	社会福祉士、精神保健福祉士、主任介護支援専門員、 介護支援専門員、介護福祉士
保育士	6	内:1名は事務員
事務職員	9	法人本部、事務課、企画・事業推進課、クリニック
その他	15	部長、施設長、園長、営繕、清掃、洗濯
合計	196	
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員:196名 (正職員雇用率 70.9%)</li> <li>・契約職員:57名</li> <li>・男性54名、女性142名 (比率 1対2)</li> <li>・平均年齢:40.6歳</li> <li>※非常勤(パート)除いた場合:37.8歳</li> <li>・障害者雇用:2名</li> </ul>



社会福祉法人

あけぼの会

# 今の介護・福祉・保育業界で 絶対に対応しなければならないこと

## 『業務効率化と生産性の向上』

その具体的な方法の一つ

# 『DX』

DX(デジタルトランスフォーメーション)とは・・・

組織が社会環境の激しい変化に対応し、データとデジタル技術を活用して、顧客や社会のニーズを基に、製品やサービス、ビジネスモデルを変革するとともに、業務そのものや、組織、プロセス、企業文化・風土を変革し、運営する上での優位性を確立することで、法人として安定した運営ができる仕組みをつくること。

# Vision

R5～7年度 経営ビジョン

組織・教育・自立支援力を進化し、  
『スタッフが物心共に  
幸せな法人になる』

～Happy management for all people～  
(すべての方々の幸せ経営)



R5年度～R7年度は  
組織変革の3年間として、

★思いは  
言語化して  
伝える！

『人財創生×DX×組織変革』を推進します。

スタッフが物心共に幸せになる仕組みを創りに取り組み、

あけぼの会で働いて良かったを実感し、

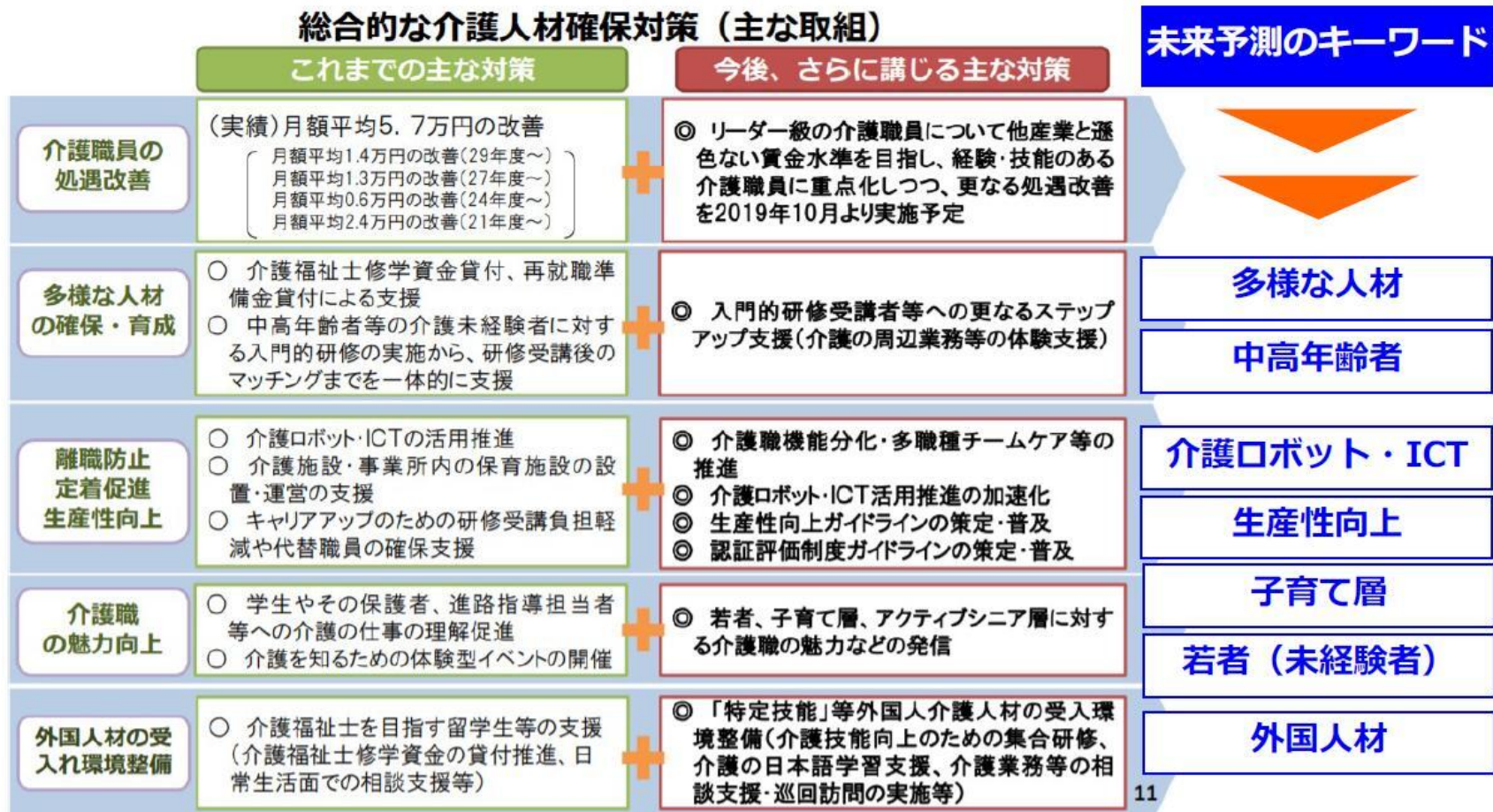
スタッフの心と経済的な安定と豊かさを実現します。

そして、スタッフの物心両面の幸せパワーで

地域の医療・介護・福祉・保育サービスの進歩発展に貢献しましょう。

# 介護業界の近未来

国が目指していることは・・・



11

私たちの働き方は、今後どう変えていくべきなのか？

# 介護業界の近未来

私たちの働き方はどう変わる？いや、どう変えるべきか？

## Technology (≡ 効率化)

- ☐ ICT化で見守り負担軽減
- ☐ ICT化で記録時間の削減
- ☐ ケアプラン作成にAIを導入
- ☐ オンライン会議
- ☐ オンライン研修

## Diversity (≡ 多様化)

- ☐ 無資格・未経験者は当たり前
- ☐ より多くの子育て層が活躍
- ☐ 60代、70代が現役として活躍
- ☐ 外国人人材が増え、国際色豊かに
- ☐ 働き方も人それぞれ



これが日本のスタンダードになる。ということは・・・  
これらが**実現できないと選ばれる介護施設にはならない！**

# 介護業界の近未来

現状認識

これからはTechnology（≒効率化）×Diversity（≒多様化）の時代

現場の業務を**徹底的に効率化**し

多様な人材が  
**働きやすい環境を整える**こと



# 業務効率化の合言葉

## 裏の効率



「引き算」  
したい！

利用者様に直接かわらない業務  
(バックヤード)

掃除

情報共有

洗濯

記録

シーツ交換

など



生活支援

レクリエーション

リハビリ

利用者様との交流

など

「足し算」  
したい！

## 表の非効率

利用者様と直接関わる部分

# 生産性向上の壁

## 業務効率化の具体策



パソコンの待ち時間や  
起動時間



2021年6月  
DXチームの立ち上げ！

おしぼりをつくったり  
洗濯したりする時間



腰痛による長期離脱と  
それによる代替スタッフ雇用



ショートステイ荷物チェック  
1日30分 × ●名 = ?



遠方から本部に集まって  
ミーティング  
交通費 + 往復時間コスト



社会福祉法人

あけぼの会

社会福祉法人あけぼの会

# 始動

×

# DX

プロジェクト

# 各事業拠点でプロジェクトメンバーが「DX推進」



利用者にも  
スタッフにも  
法人にも地域にも  
メリットがある拠点



格安スマホ



見守りロボット



ルンバ



アセスメント



インカム



記録・情報共有



送迎表自動化



AI歩行評価



室内カメラ(放課後デイ・児童発達支援事業所)

危険運転記録 & 通知システム



# プロジェクト「DX」

## 業務効率化と生産性向上を目的にチーム編成！



プロジェクトリーダー  
石田 大智



① 優れた機器（活用機能）を選定する

② 誰が・いつ・どこで使うかを仕組み化

③ 教育をしていく

# 優れた機器を活用する

## 業務効率化の具体策

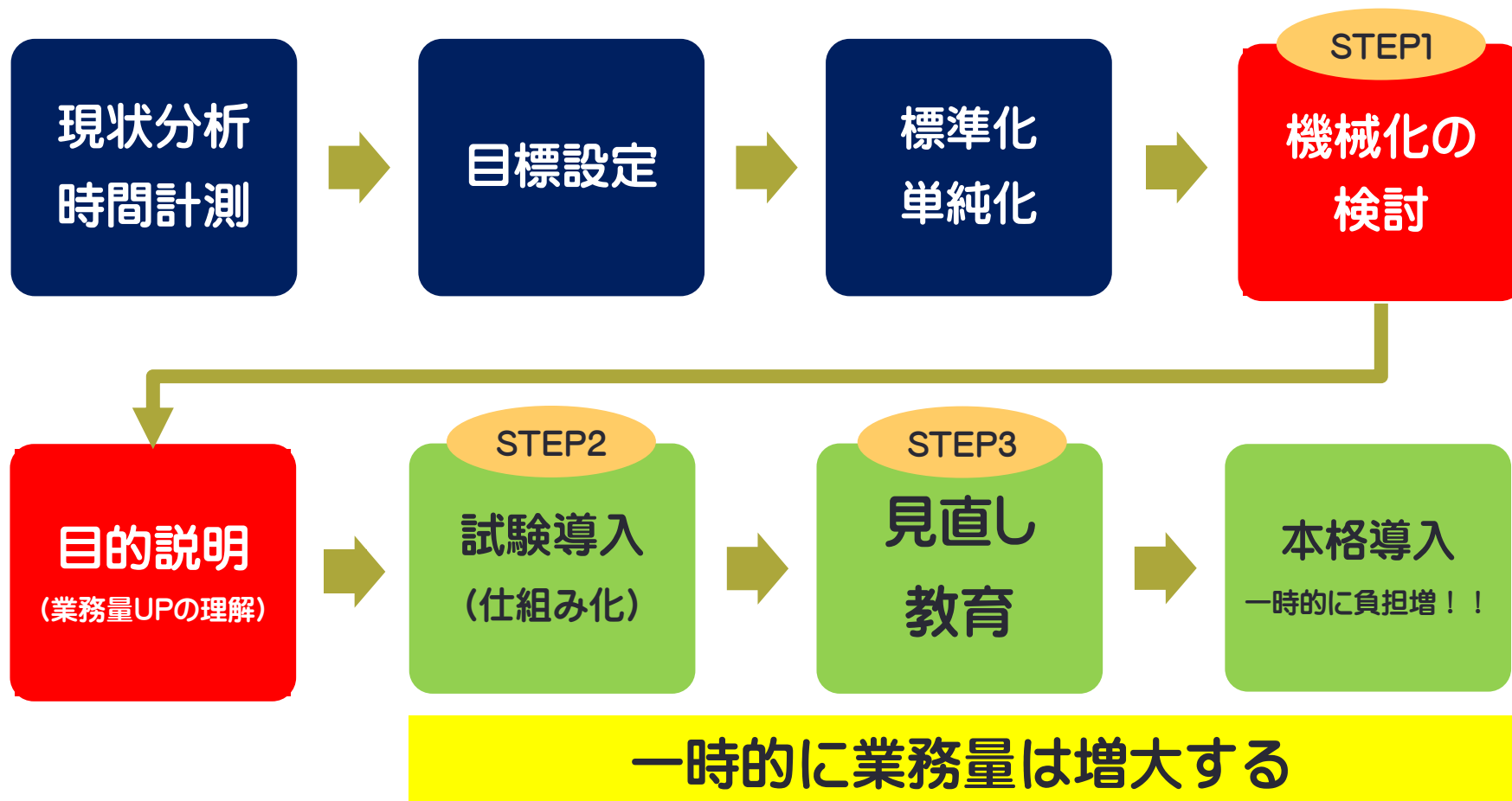
- ・出退勤 & 有休管理システム (ジンジャー)
- ・社員スケジュール管理、社内チャットシステム (メルタス)
- ・介護記録システム (ブルーオーシャン)
- ・会計 & 給与計算システム
- ・ワイヤレスナースコール (ココヘルパ)
- ・歩行力測定システム
- ・インカム
- ・人事考課 & 教育動画システム (ケアキャリア)
- ・お掃除ロボット (ルンバ)
- ・見守り介護ロボット (まもる一の)
- ・荷物チェック (介護サプリ)
- ・WEBカメラ & レコーダー
- ・移乗サポ-トロボット (Hug)



人件費よりも  
ICT機器・ロボット機器の方が  
リーズナブル！  
これだけ導入している。

# DX推進の理想的な流れ

ロボット化・ICT化



ここで挫折する事業所が多い

# DX事例①: Blue Ocean (介護記録システム)

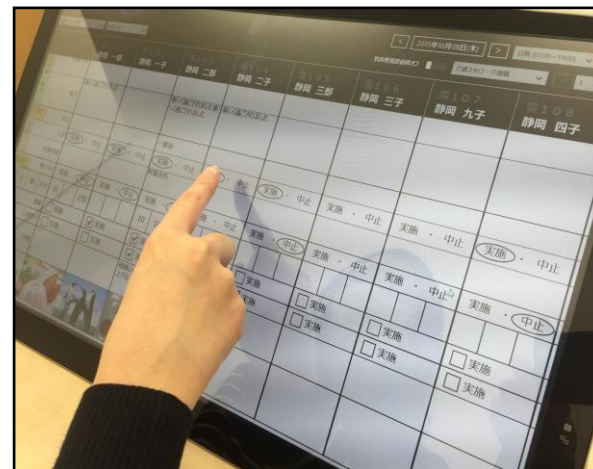
## 取り組み前の状況 BEFORE

- ★記録は紙に手書きしていた  
⇒日中で記録が終わらず夜勤帯までかかることも
- ★複数の書類に同じ内容を記録していた
- ★重いファイルを持ち歩き、情報共有や記録をしていた

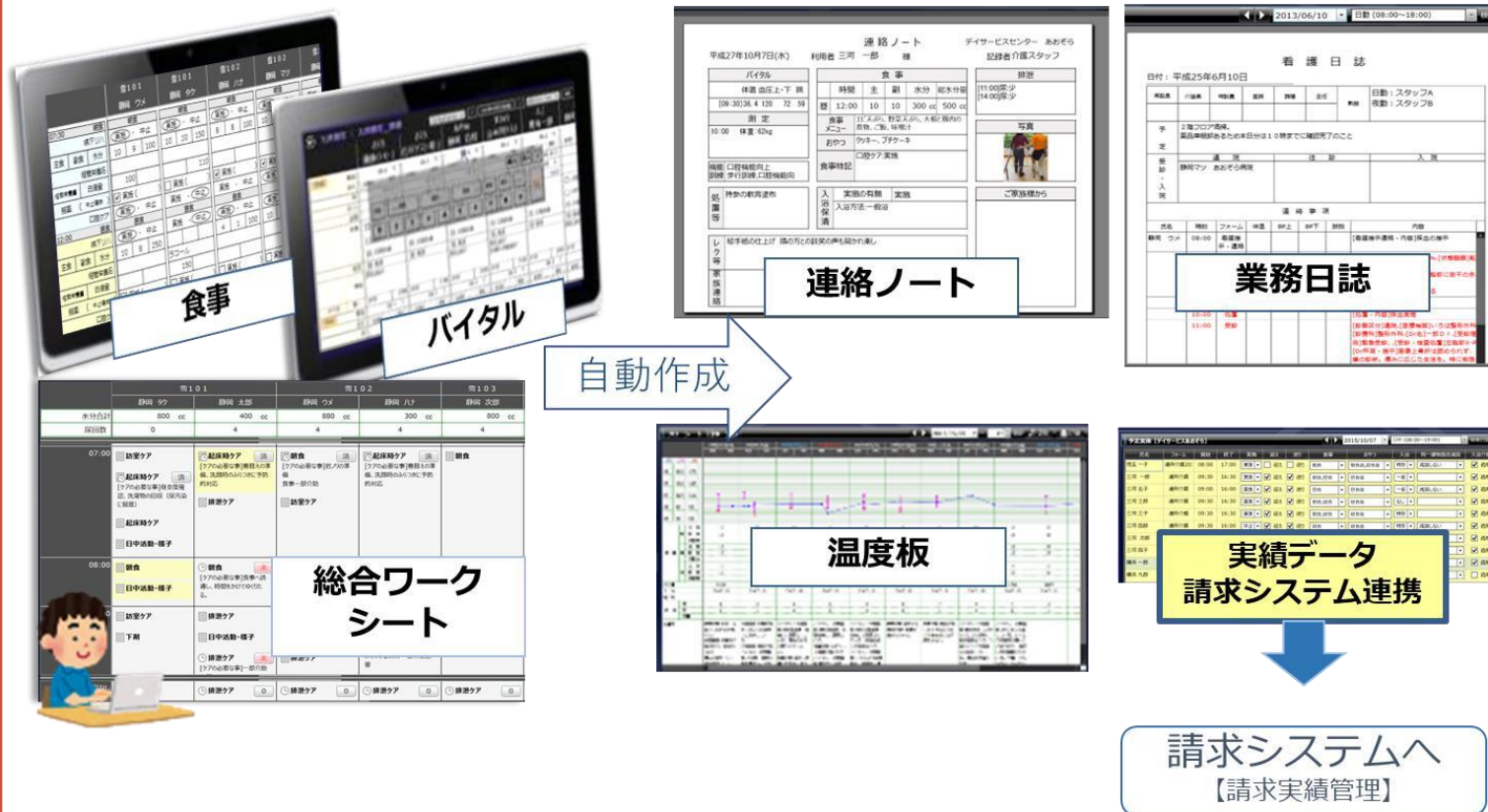
## 取り組んだ内容

### ★Blue Ocean (介護記録システム) の導入

	実施 あたみ 梅子	実施 あたみ 三郎	実施 あたみ 太郎
送迎	到着時刻 9:30 迎え 家族 (自事業所)	9:00 家族 (自事業所)	9:30 家族 (自事業所)
09:30	体温 35.9℃	36.6℃	36.6℃
バイタル	血圧 113 / 80	123 / 71	132 / 98
	脈拍 85 回/分	70 回/分	80 回/分
	状態観察 特変なし。	良好です。	血圧高いが体調問題なし
10:00	訓練 (実施) 中止	実施 (中止)	(実施) 中止
機能訓練	歩行訓練、立位保持 プログラム		歩行訓練、立位保持 訓練
	状態 意欲的に取り組んでいました。	本人希望により、中止としました。	意欲的に取り組んでいました。
10:30	カラオケ	ちぎり絵	水彩画、絵手紙
日中活動の様子	活動内容 積極的に参加される様子	視力が悪く、参加するものすぐに手を止めてしまいました。	積極的に参加され、楽しんでいました。
11:00	入浴 実施 (中止)	実施 (中止)	(実施) 中止



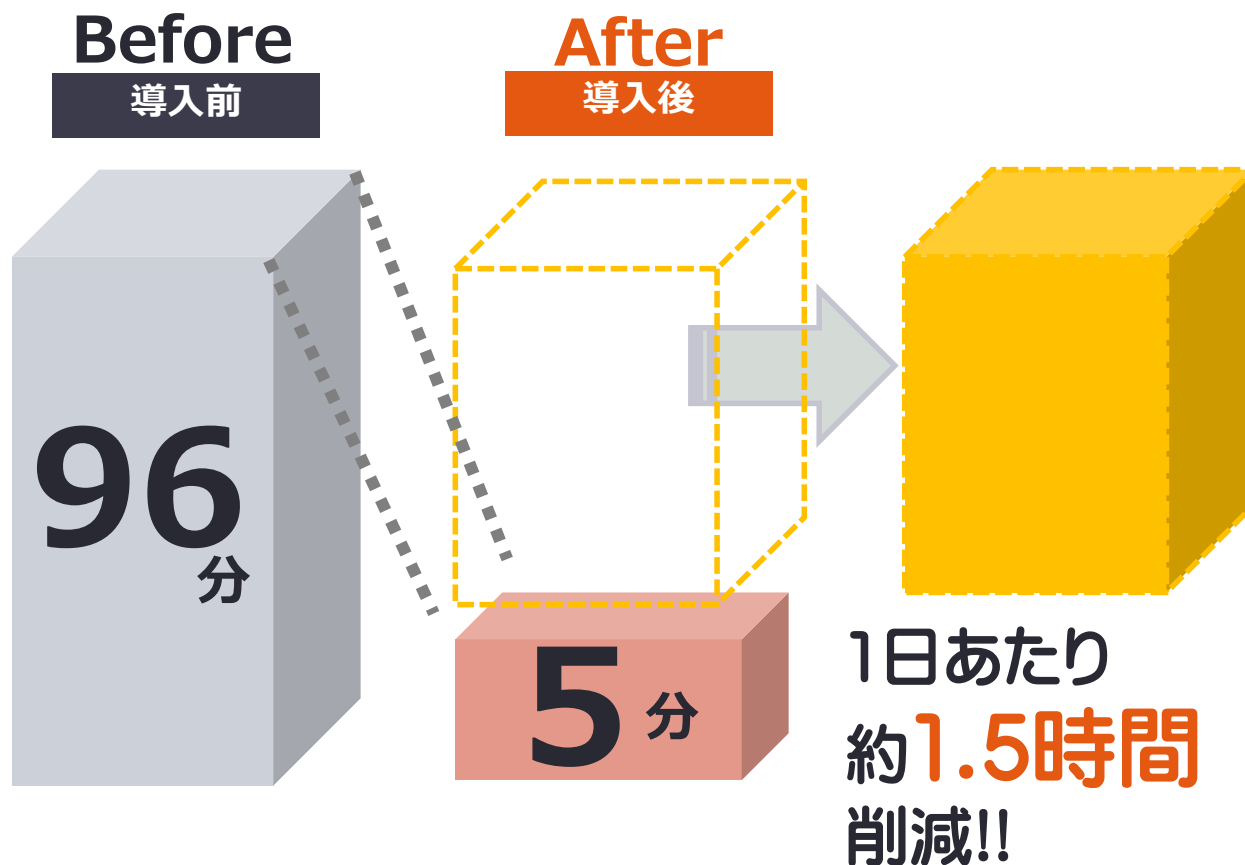
# AFTER



★食事やバイタルを入力すると、自動で日誌や  
温度版が作成され、記録に掛かる時間が大幅に短縮

## 取り組み後の成果 AFTER

### 個人記録にかかる時間(48名分)



# プロジェクト「DX」現在の取組み～次年度の展望

## 介護記録のAI活用

① 音声入力

② 記録の要約

③ 多言語翻訳

④ 申し送りチャット



### AI音声入力

いつも通りに話すだけで、記録完了！

- 自然に話すだけで記録を自動作成
- 項目の順番や言い方もルール不要で入力可能
- 事故報告書など各種帳票も音声入力可能
- 外国人人材の活躍をサポート！

## DXプロジェクト まとめ

- ✓ 介護業界では人材不足が深刻な問題となっている。この問題に対処するため、ICT機器を活用し業務の効率化と生産性の向上を図る。
- ✓ 多様な人材がICT機器を活用できるような環境を整備するために、仕組み作りや教育の機会などを設けることが重要。
- ✓ DX（デジタルトランスフォーメーション）の取り組みから得られた時間を、限られた人員の中で活用すること、サービスの質の維持・向上に向けて推進していくことが重要。

DXがもたらすもの・・・

# 『何のためのテクノロジー

# DX(デジタルトランスフォーメーションか！』

- ✓ 業務効率化と生産性の向上の具現化のひとつ
- ✓ 属人化からの脱却
- ✓ DXで実現する、持続可能な福祉の形のひとつ  
(サービスの質と提供体制を維持するための基盤整備)
- ✓ 今後の介護経営のターニングポイント  
(できるかできないか)